

社協だより

かしわ


2015年 秋号 NO.65



せせらぎ公園コンサート

発行者：生坂村社会福祉協議会 TEL69-3000 FAX69-3091
E-mail : info@ikusaka-shakyo.or.jp

印刷：有限会社花岡印刷

 社協だより「かしわ」は、共同募金の配分金で発行されています。

ホームページを開設

兼ねてより計画していましたが、社協ホームページを8月中旬に開設しました。

施設の紹介や仕事の内容など、今まで細かくお知らせできなかった事も日ごとに掲載していきます。

トップページを開くと、お知らせやブログ(日々徒然)が有り、写真つきで記事を綴っています。



(トップページの写真)

<http://www.ikusaka-shakyo.or.jp>

地域の身近な記事が多く、皆さんも登場しているかも知れません。

デイサービス、ヘルパーステーション、ケアプランなど、耳にはしていたけど分からなかった事や、地域の皆さん全体に係る事業元気塾、有償運送サービス、配食サービスなども紹介しています。

社協って、こんな事もしていたのかと分かると思います。

今後は専門的な分野の事も、簡単に分かりやすく紹介できる記事を書きたいと思っています。パソコンの環境が整っている方は、是非覗いて見て下さい。

*ホームページや広報に掲載できる、社協のマスケットが有ればうれしいのですが、どなたか考えて頂けないでしょうか？フナッシーみたいな奴。



(ハモニカの伴奏で熱唱)

ひとり暮らし高齢者の集い

「赤い羽根配分金事業」

11月10日

今年の集いは、アルプスのふもと白馬を舞台に開催しました。

朝方まで降っていた雨もあがり、薄日さえ差す天気が変わって来ましたが、さすがに北の地だけあって、風は冷たく感じました。

参加者30名余りは、唐松の紅葉が綺麗に写しだす山々の落ち着いた風景に酔いしれました。



会場付近のジャンプ台や大出公園のつり橋やかやぶきの家なども見学して満足して頂けたと思います。

会の始めに少し時間を頂き、ひとり暮らしをプラス思考にして、楽しく過ごしていただく提案や、社協が協力でき、相談に乗れる事などを周知させて頂き、もっと多くの機会を提供できればと考えています。

懇親会では、得意のカラオケを熱唱する方、作詞した歌詞を披露する方など、役者ぞろいが多く、楽しいひと時を過ごしました。

せせらぎ公園 夕涼みコンサート



「赤い羽根配分金事業」
9月10日
今回のコンサートは70年代頃の
フォークソングを中心にライ

ブ活動を行っている「藤森敬一」
さんをメインにお願いして、高齢
者生活福祉センターを会場に行
いました。

開演前には、降っていた雨も
小雨になりひと安心しました。
会場にはボランティアさんや
地域の皆さん、約80名の方が集
まって頂き、演奏を心待ちにし
ていました。

今回お招きした藤森さんは、
中学生時代に、「かぐや姫」(神
田川などの歌でヒットした
フォークグループ)に感動を受
け、ギターを始めたそうです。現
在では、小学校で教団に立つ傍
ら、「雪化粧」と言うグループに
参加して、多くの音楽仲間と活
動しているとの事で、このス
テージには、リードギターの上
坂さんとコーラスの川島さんも
一緒に参加して華を添えて頂き
ました。

歌が始まると、しっとりとし
たハイトーンボイスが館内に響
き、心が優しくなりました。加え
て、リードギターのテクニク
と、女性コーラスの歌声がマツ
チしてとても良いハーモニーを
奏でていました。

また、有名な曲が多いことも
あり、あちらこちらから一緒に
口ずさむ声が聞こえていました。



最初は、せせらぎ公園作りに尽
力頂いたボランティアの方に感
謝の気持ちとして実施していた
コンサートですが、今では村民の
皆様に輪を広げ、感謝の気持ちを
音楽で伝えていきます。今年で7回
を数え、すっかり定着した社協の
事業となっています。

今まで、そしてこれからも公園
整備に当たっては大勢の方の協
働の意識が無くては成し遂げら
れない事なので、社協スタッフ感
謝しています。

「ねこはんてん」作り

10月

はるかぜ

木曽地方に昔から伝わる防寒着で、綿入れのちゃんちゃんこを縫い上げました。この地方では、伝統工芸品を作る際に邪魔にならないように袖なしにし、冷える背中だけを暖めるように工夫したものです。



(細かい仕事もお手のもの)



(出来上がった品物)

洋裁の仕事をしてきた、大沢勝子さんに指導して頂き、スタッフが構想を練り、図面を引いて準備を始めました。今は4着目を手がけています。

「ねこ」の名前の由来は、「ねんねこ半纏から」「作業している姿が猫背だから」「猫のように温かい」など諸説があるようです。

写真は出来上がった3着目の物で、細かい箇所もしっかりと縫製出来ていて、昔から縫い物が得意な方が腕を振っていました。

避難訓練実施

10月

デイサービス

「緊急時に役立てる」

「緊急時に役立てる」デイサービスセンターと高齢者生活福祉センター合同で避難訓練を行いました。

災害は無いことが望ましいのですが、いざと言う時のために準備しておかなければなりません。

訓練は消防署も立ちあいの基デイサービスからの出火を想定して、高齢者センターへの避難を行いました。

利用者の中には、重度な方もおられ、酸素ボンベも一緒に移動する事も試みました。また、ベッド上に複数の方を載せての移動も役に立つかも…との事で実施してみました。

また、消火栓からの放水も初めて訓練しました。訓練という事もあり、落ち着いて行動する事ができましたが、実際の災害時にどこまで実践できるかと考えました。



(事後の評価)



(放水もしました)

おはなしコンサート

7月

「しあわせingサークル」による、朗読やブラックシアターを上演して頂きました。

交流室のスペースを使い、暗幕を張って小さな劇場が出来上がりました。環境が整ってのブラックシアターはとても綺麗に光が浮き上がり、見ごたえのある出し物でした。

デイの利用者や近所のみなさん約40名に楽しんでいただきました。



(竹取物語)



(大釜で炊きます)

日赤奉仕団炊き出し

7月

分団長を始め総勢25名の方が参加して、災害時のハイゼックスの炊き出し実践を行いました。

軒先で直射日光は避けましたが、夏の暑さの中で沸騰するお湯を相手に奮闘し汗だくでした。

参加された殆どの方が、ハイゼックスを利用した炊飯の仕方を理解され、地域での訓練に役に立って頂けると、開催した効果があります。

地域支援

紅葉真っ盛り

10月

元気塾の野外散策は木曾の「やぶはら高原」を目指しました。

まれに見る好天続きで、すべての班が紅葉を楽しみました。

こだまの森での豪華弁当の昼食を済ませ、午後に向かった味噌川ダム。ダムが貯水する人造湖は奥木曾湖と呼ばれ、この周辺を取り巻く山肌の紅葉が、最近の外出では一番の光景でした。



(ダム湖の紅葉)



(子供にはしゃいでいます)

こだまの森には多くの遊具が設置されていて、久しぶりに(?)童心に返り、ブランコや滑り台に興じる方もちらほら見受けられました。

多くの方は木陰で、おしゃべりに精を出し、時間の経つのもアット言う間でした。

*味噌川ダム

昭和48年に着工して平成7年に完成。23年の歳月をかけて完成した。高さ140メートルのロックファイルダムで、多目的に利用される。独立行政法人、水資源機構で管理している。*

楽しみながら 運動機能向上！

元氣塾では介護予防講座で、下里泰伸先生による指導をお願いしました。毎回、新しい運動を取り入れ、続けていける内容の運動は復習して強化していく様に考えてプログラムを組んで頂き、参加

(タオル運動)



11月



(チューブの運動は定番です)

者も楽しみにしています。今回はタオルを使った、簡単な運動に挑戦しました。タオルの中央にこぶを二つ重ねるように作って、両端を手で持ちます。持ったまま上半身を倒したり、ひねったり汗をかく程度に負荷をかけます。椅子に座ったままの運動なので、足腰の弱い方にも無理なく出来、足の裏や、腰、肩などに当てて指圧の要領でコリを取る事も出来ます。なかなかの優れ物でした。

ベンチサッカーで白熱！

9月29日



(白熱の戦い)

小学生との交流は、久しぶりにベンチサッカーで燃え上がりました。歩きは自信が無くても椅子に座ったの競技はまた違うようです。ボールに食いついていく姿は日本代表にも劣らない勢いです。子供たちも応戦して、なかなかの試合となりました。机の上では、カルタなどを楽しみ、久しぶりに童心に返りました。たまには必要な事でしょう。

秋空の下でスポーツ

10月22日

長寿会連合会のスポーツ大会は、やまなみ荘下のコースを会場にマレットゴルフ大会を開催しました。結果を集計して懇親会では、表彰式を行いました。普段からプレーしている方も多く、ホールインワンも出て、白熱した大会でした。休会している地区からも個人での参加があり、うれしい話題となりました。



(しっかり狙って)

デコパージュに挑戦

元氣塾での物づくりは9月から始まりました。

聞きなれない言葉ですが、簡単に説明すると、プリントされた薄い紙を丁寧に切って、レイアウトをして特殊な溶剤で無地の物に貼って、世界に一つだけの自分のデザインの作品を完成させます。手提げバックの他にも、石鹸などでも綺麗に出来ます。



(自宅を訪問)

福祉学習で交流

中学校3年生が、8月から9月にかけて3回の福祉学習を行いました。

1回目は社協職員が講師となり地域の様子を話し、グループワークしたり、質問を受けたりしました。2回目は、元氣塾との交流で利用者との交流を通して、様々な情報を収集しました。3回目は自宅への訪問をさせていただき、色々な話を聞かせて頂いた。

り、出来るお手伝いをしたりして、普段の暮らしぶりを実際に目にして理解してもらいました。

3回の学習を踏まえて、村の生活環境の現状とその中で生活する高齢者の困りごとや、考えていることを知りました。どのような福祉サービスがあり、また足りないサービスは何かなど自分たちなりに考えて、生坂がどのように変わればいいのかなど含め、文化祭では学習の結果を発表しました。



(情報を集めます)



(カンナの整理をする)

公園整備は大きな輪

ボランティアや地域の皆さんが定期作業に集まって頂き、長寿会連合会の奉仕作業でご苦労して頂いたり、中学生が郷土学習で花壇の手入れをしたり、小学生も含めた緑の少年団の花苗植えの場所になったりと、せせらぎ公園も様々な方の手を借りて協働の舞台となり順調に整備が進みました。

係って頂いた方で、大きな輪が出来ています。

掲示板(報告、お知らせ)

10月は赤い羽根共同募金の戸別募金をお願いしました。
戸別募金の結果を報告します。

(11月10日現在)

目標額	700,000円
実績額	667,547円 (652件)

以上が戸別募金の結果です。ご協力ありがとうございます。
引き続き12月31日までは、歳末たすけあい運動を展開しています。
よろしくお願い致します。



社協会費ご協力の結果

7月にお願ひしました社協会費の集計です。ご協力に
感謝致します。

一般会員	590口	885,000円
賛助会員	55口	165,000円
特別会員	26口	260,000円
合計	671口	1,310,000円

会費は有効に利用させていただきます。
ありがとうございました。

社協会費特別会員
協力法人
(順不同敬称略)
1口 10,000円

北安陸送(株)	1口
(有)竹内工務店	1口
(株)信陽	1口
藤澤醸造(株)	1口
石川組	1口
(有)瀧澤	1口
(株)双和産業	1口
平林建設(株)	2口
藤澤商会	1口
JA松本ハイランド 生坂支所	1口

寄付 (6月~11月)

下生野 匿名 様	70,000円
上生坂 平林 勲 様 (切手)	56,140円
日本禁煙友愛会生坂支部様	50,000円
赤とんぼ売上金 団体様	13,910円
// 民生児童委員会	10,219円
生坂村民ゴルフ大会チャリティー	24,000円



Thank you

編集後記

紅葉の季節も終わり、冬に近づく季節に変わり始めました。秋は社協の事業も目白押しで、
スタッフ一同忙しい季節でもありました。この様々な事業が
地域の方に喜んで頂けると信じて一生懸命取り組んでいます。
日々、寒さ増していきます。インフルエンザにご用心下さい。

